

高知くらしの護身術

427

カセットコンロ

経年劣化に注意

(2017年4月18日掲載原稿)

カセットコンロは、家庭だけでなくキャンプなどのアウトドアにも便利ですが、火災や事故を引き起こす場合もあり、注意が必要です。事故の原因の多くは不注意や誤使用ですが、正しく使用しているにもかかわらず火災が発生した場合は「経年劣化」が考えられます。

【事例1】調理をするため、カセットコンロを点火したところ、ガスボンベのノズルの側から炎が上がった。

【事例2】鍋で調理中、「パリンッ」という音がしたので見ると、カセットコンロの下側で炎が出ていた。

【事例1】は、これまで未使用だったコンロを使用していたが、調べたところ、約30年前に製造された商品だったのでパッキン部が経年劣化で硬化したことが原因でした。

【事例2】は、コンロが約10年前に製造されたもので、バーナーにつながる混合管が腐食し割れていたことが原因でした。

トラブルを防ぎカセットコンロおよびボンベを安全に使用するために、以下の点に注意しましょう。

- ① 古いコンロおよびボンベはゴム製部分が劣化している可能性が高いため使用しない。製造時期から10年が交換の目安です。
- ② 各コンロで指定されているボンベを使用する。
- ③ ボンベを取り付ける際は合わせ位置で正確に取り付ける。
- ④ ボンベを取り付けた後、臭いや音でガス漏れがないか確かめる。点火後は炎の出方を確認する。
- ⑤ 腐食の原因となるため、調理物の煮こぼれ等の汚れは放置せずに拭き取る。
- ⑥ 使用後は、コンロからボンベを取り外す。

普段あまり使用はしないが、非常時や災害時の備えとしてカセットコンロを持っているという人もいます。事故を防ぐために、お手持ちのコンロの製造年月と状態を確認しておきましょう。